

実施計画事業名		郷土歴史資料展示活用事業		評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		教育部 教育総務課		課長(主幹)名	藤島峰幸			
総合計画体系	分野	1	教育・文化					
	政策	3	活気あふれる学びの場づくり					
	施策	4	歴史の継承と文化財の保護・保存を推進します					
	関連施策							
現状と課題	北方記念館は、昭和52年に稚内公園に建てられた開基百年記念塔の1～2階部分に作られ、本市の博物館的な機能を有している。建物の最上部からは360度のパノラマで展望を楽しめることもあり、定期観光バスのルートにも組み入れられているが、学芸員等は配置していないため、参加・体験型のニーズに応える利用が難しく、リピーターを増やすための工夫が必要である。老朽化が進んでいることから、継続的に修繕が必要な状況である。建物の周辺は、数年前から市民の有志により北方の山野草を植栽した整備が進められている。							
目的	来館者に本市の歴史や文化を伝え、本市に対する興味や郷土愛を深めてもらう							
5ヶ年展開の	<p>◆平成21年度・・・間宮海峡発見200年を記念して『間宮林蔵展』を開催(展示物のリニューアル)。期間中は、市民のボランティアによる案内を実施。</p> <p>◆平成22年度以降・・・体験・参加型事業の導入について検討、市民ボランティアの継続</p>							
成果指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度
	北方記念館年間入館者数		人		目標	19,000	20,000	20,000
活動指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度
	北方記念館の開館日数		件		目標	177	177	177
事業費の実績	説明		1年間に北方記念館に入館した人の数(延べ)		実績	25,761	19,887	
	説明		1年間のうち開館した日数		実績	181	177	
					目標	-	-	-
	説明				実績			
					目標	-	-	-
	説明				実績			
事業費の実績			単位	21 年度 (決算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)		千円	20,916	16,912	14,876		
	国庫支出金		千円	0	0			
	道支出金		千円	0	0			
	起債		千円	0	0			
	その他		千円	0	0			
	一般財源		千円	20,916	16,912	14,876		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.90	1.00	1.00		
人件費(B)		千円	6,233	6,791	6,791			
計(A+B)		千円	27,149	23,703	21,667			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 平成21年度については、北方記念館のリニューアルオープン及び間宮林蔵展の開催により入館者数が増加した。							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する>
	北方記念館は、博物館的な機能と建物の最上部からは360度のパノラマで展望を楽しめる観光の機能が混在している稚内市の名所。平成21年度に展示物のリニューアルを図り、平成22年度においても「伊能大図1/2図」など本市の歴史や文化に関わる資料について一層の充実を図った。指定管理者との共同開催による「参加・体験型」イベント等を開催するとともに、特別展などを昨年に引き続き実施し一層の利用促進を図る。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--